

記入日 2024年8月1日

助成団体名 一般社団法人環不知火プランニング 内

「水俣から学ぶティーチーズネットワーク」

2023年度 「水俣・熊本みらい基金」 助成事業報告書

企画テーマ	『水俣からの学び』を次の世代へ 社会へのエントランスに立つ高校生のための教材作成 ～ワークシートや指導案および授業教材づくり～
取り組み実施期間 または日時	2023年助成決定から2024年3月まで

【取り組み目的】

平和学習については、様々な教材が存在しますが、公害学習、水俣病学習については、各学校や担当教員がばらばらに作成し、個人の努力と情熱によって辛うじて維持されているのが現状です。また公害の発生は、経済活動と密接に関係しており、授業の中で取り上げづらい現場環境であるのも大なる課題です。「人権教育」の分野でも扱うケースもありますが、指導できる教師の高齢化がここ数年で一気に進み、授業を組み立てる知識とスキル継承が危ぶまれています。加えて「公害教育」という名前自体が、教育現場から無くなることから一気に学ぶ力の弱体化を懸念しており、水俣地域内ですらその兆候がここ数年強まっています。

今回の助成事業で、教育現場を持っている「水俣から学ぶティーチーズネットワーク」会員が、指導案から作成して、ワークシート、授業教材づくりを行い若い教師たちに継承する機運を水俣圏外から発信していきたいと考えています。

【取り組み内容と成果】

高校生ワークシート作成（指導案や授業用教材含む）を行う

■2023年事業について

ワークシート教材を作成するとともに指導案なども作成

指導教員も授業プロセスで生徒ともに学ぶことができることを期待

- ・ 高校用の（各A4 7-8頁程度）を作成
- ・ 当団体ホームページにサンプルPDFを掲載し、情報発信
- ・ 当団体ホームページから申請を受け、PDFで資料送信

■成果物の運用について

- ・ 水俣芦北地域へ教育旅行や視察研修で来られる学校教員への案内
- ・ 申請校へ上記データの送信
- ・ 教員が、データを自由に活用し（改変も許可）、授業を行う

【備考欄】

■事務局について

本来は、教員のネットワークを独立してつくるべきところではあるが、会員が全国に散らばっているため、水俣をプラットフォームとした事務局が必要。また、他県のニーズを吸い上げるため、全国の修学旅行や視察研修、大学ゼミの受け皿となっている（社）環不知火プランニングが引き受けることは、意味があるということで事務局機能を引き受け設置した。

■構成メンバーについて

・主宰

一般社団法人環不知火プランニング 代表理事 森山亜矢子

・アドバイザー

大阪公立大学 除本理史

中央大学 大野新（元筑波大学附属駒場高等学校 副校長）

・小学校ティーチャーズ

神戸市立小学校（校長）竹中美香子

神戸市立小学校 吉田かよ子

神戸市立小学校 坂本祐樹

・中学校ティーチャーズ

筑紫野市立中学校 坂田康亮

佐賀学園成穎中学校 渡邊和仁

・高校ティーチャーズ

神奈川学園高等学校 小川輝光

・地元協力者

水俣芦北公害研究サークル 梅田卓治

水俣芦北公害研究サークル 濱口尚子